せいかつ探検隊

子どもに寄り添う！
カリキュラム・マネジメント

2021
no. 2

連載 わたしの工夫❶
指導の充実と働き方改革の両立

光村図書

子どもに寄り添う！カリキュラム・マネジメント

学習指導要領のキーワードの一つである「カリキュラム・マネジメント（以下カリマネ）」。
カリマネを進めていくには、学校として育成を目ざす子ども像を見据え、
子どもの実態に寄り添った取り組みが不可欠です。
実例をあげながら、実践するためのポイントとヒントを紹介します。

今、求められているカリキュラム・マネジメントとは？

大谷敦司 *Atsushi Oya*

平成29年告示の「小学校学習指導要領解説 総則編」の中で、カリマネとは、「学校教育に関わる様々な取組を、教育課程を中心に据えながら組織的かつ計画的に実施し、教育活動の質の向上につなげていくこと」と示されています。さらに、カリマネには❶教科横断的な視点で、教育内容等を配列すること、❷PDCAサイクルを確立すること、❸学校内外資源を活用することの三つの側面があるとしています。

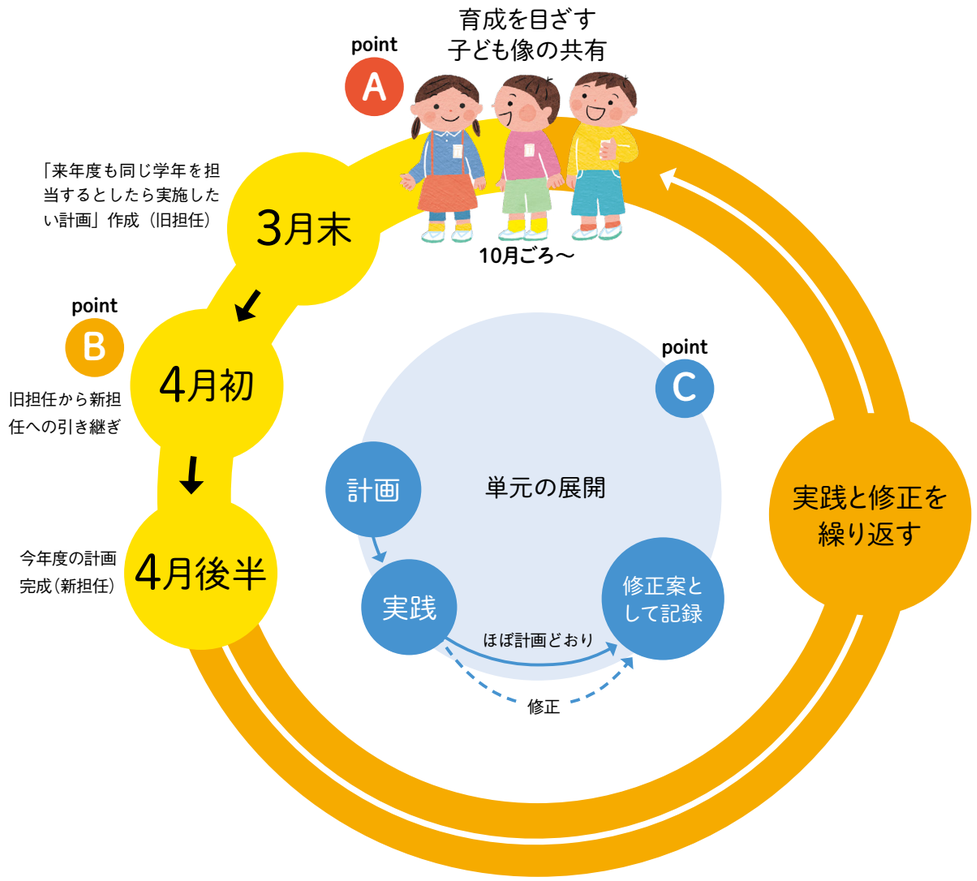
このように、カリマネといっても、特に目新しいものではないと感じます。従前より学校教育は、授業や教育活動の計画を立てて、定期的に反省を行い、質を上げることに力を注いできたからです。しかし、その計画や反省の一つ一つはバラバラな「点」で、互いにつながっていないことが多かったのではないでしょうか。こうしたことを本気で振り返ることからカリマネは始まります。

カリマネは、学校教育の中に、単独で存在するのではありません。学習指導要領が示す、資質・能力を育成し、学校として目ざす子ども像を達成するために行います。

今後、さらに予測困難な時代になっても、子どもたちがよりよく生き、よりよい社会を創造するために、それぞれの授業・教育活動がどうつながり、自分はそれにどう関わっていくのかと、校内すべての教職員一人一人が本気で考え始めたとき、「点」は「面」になり、本当のカリマネが動き出すのです。

大谷敦司
おおや・あつし
天童市立天童中部小学校校長。山形県内の公立小学校、山形大学附属小学校勤務ののち、山形県教育庁、天童市教育委員会勤務、天童市立天童南部小学校校長を経て、現職。現在の勤務校では、「子どもがする（子ども主体の）授業」を目ざして、授業形態の工夫も含めて、子どもの学びに生きるカリキュラム・マネジメントの在り方を、授業公開や各種全国大会での発表等で発信している。『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説　生活編』作成協力者、『小学校新学習指導要領ポイント総整理 生活』（東洋館出版社）作成協力者。光村図書『せいかつ』教科書編集委員。

カリキュラム編成の流れとポイント



point A 教職員での共通理解

10月ごろから始まる教育課程編成会議で、学校として目ざす子ども像を、教職員で話し合うことが最も重要な意味をもちます。表層的・形式的な話し合いではなく、人数やグループ等を変えながら、子どもたちの実態や目ざす姿を本音で語り合いましょう。実践しながら、折に触れて何度もこの内容に立ち返ります。

point B 計画の引き継ぎ

実践をしながら、単元配列表に修正を加え続け、年度末には「来年度も同じ学年を担当するとしたら実施したい計画」がほぼできあがっているようにします。それを3月末までに完成させ、4月当初に、新しい担任団に説明を加えながら引き継ぎます。特に、単元の実施時期、体験活動ができる場や地域で協力してくれる人材等の確認をしておくと効果的に学習を進めることができます。子どもたちと出会ってさらに修正を加えるため、すべての学年の単元配列表がそろうのは4月後半になります。

point C 単元の展開

子どもたちの学びに合わせて計画を修正しながら、単元を展開していきます。単元の学習が終わった後には、目標と、学習材や学習形態等の関係が妥当であったかを評価します。学級単位の修正なのか学年としての修正なのかについても話し合い、記録として残します。研究授業や単元内自由進度学習等、特に力を入れて実践した単元の記録は、決められた保管場所に紙とデータの両方を残しておき、次年度以降の実践に生かすことができるようにします。

実践に学ぶ

山形県天童市立天童中部小学校　第2学年の実践例

1 単元配列表をつくる

柱となる単元の目星をつける

１学期に一つ程度、他教科等との関連を意識して大きな塊となりうる単元の目星をつけておきます。これを本校では、「**一点豪華〈合科〉単元**」とよんでいます。目星をつける際は、二つの視点から考えていきます。

視点 1 内容の関連

例えば、生活科の内容(7)「動植物の飼育・栽培」を扱う単元と、国語・図工・道徳・特別活動等で、“いのち”や動植物を題材とした単元を同じような時期に集めるなどして関連を意識しながら学習を進めます。

［例］**1学期**
「いのちのつながり（牧場体験）」

視点 2 能力の関連

共通のテーマにいくつかの教科にわたって取り組むことによって、さまざまな能力を伸ばす学習が実践できます。

令和3年度　第2学年　学習に関する計画表

［第２学年　学年目標］ やさしく…相手のことを意識し、場に応じた行動　かしこく…自分たちで学び合う　しなやかに…自分と友達のよさを大切にする

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校行事 児童会 学級活動	始業式・入学式 ・安全なくらし(避難訓練) ・交通安全(歩き方)	創立記念式 ・1年生を迎える会 ・元気なあいさつ ・校外学習のきまり	・安全なくらし(避難訓練) ・食べ物の栄養を考えよう ・虫歯予防	終業式 ・夏休みのくらし方	始業式 ・2学期になって	秋季大運動会 ・マラソンがんばろう	・安全なくらし(避難訓練) ・がんばろう学習発表会	学習発表会 ・本をたくさん読もう	終業式 ・冬の遊びを考えよう ・給食に感謝しよう	始業式 ・３学期になって ・雪となかよし	・６年生を送る会 ・風邪の予防	卒業式・修了式 ・安全なくらし(避難訓練) ・こんな３年生になりたいな ・春休みのくらし方
道徳	気もちのよいふるまい よいと思うこと きそく正しく	つかい方をきめよう わたしたちの中部小学校 ともだちとなかよく	生きているってすばらしい 整理整頓 はたらくことのよさ	安全にくらそう ふるさとに親しみ	生き物にやさしく	じぶんでやること やくそくやきまり 力を合わせて	心を形にあらわそう やりぬいて 思い切って	お世話になっている人に すなおな心 うつくしいしぜん	大切なかぞく あきらめずにがんばる	みんながつかうもの 学校の生活を楽しく	いのちを大切に ありがとう 新しいてつだい	すがすがしい心で みんなのために
生活	１年生をむかえよう 春をさがそう	大きくなあれ	わたしのやさい いのちのつながり） （牧場体験）	やさいをしゅうかくしよう 夏のまちたんけん	なかよし会をしよう	秋のまちたんけん	さつまいもパーティー あつまれ　みんなの 大はっけん	おもちゃのひみつをつたえ合おう		大きくなったぼくわたし	ありがとうをとどけよう	３年生へジャンプ
国語	（おはなしを読み、 やくにわかれて 音読しよう） ふきのとう 春がいっぱい きょうのできごと	ともだちをさがそう （じゅんじょに気をつけて 読もう）たんぽぽのちえ かんさつ名人になろう	（お話を読んで、 しょうかいしよう） スイミー こんなもの、見つけたよ	（本はともだち） お気に入りの本を しょうかいしよう／ ミリーのすてきなぼうし 夏がいっぱい	雨のうた ことばでみちあんない	大すきなもの、教えたい （読んで考えたことを 話そう） どうぶつ園のじゅうい	（そうぞうしたことを、 音読げきであらわそう） お手紙 秋がいっぱい そうだんに のってください	（せつめいのしかたに気を つけて読み、それをいか して書こう）馬のおもちゃ の作り方／おもちゃの作 り方をせつめいしよう あったらいいな、 こんなもの	（自分とくらべて、 かんそうを書こう） わたしはおねえさん お話のさくしゃになろう 冬がいっぱい	詩の楽しみ方を 見つけよう （だいじなことばに 気をつけて読み、 分かったことを 知らせよう）おにごっこ	見たこと、かんじたこと （読んで、かんじたことを つたえ合おう） スーホの白い馬	楽しかったよ、二年生 すてきなところを つたえよう
書写	字を書くしせい えんぴつのもち方	書きじゅん 点と画の名前	「はらい」のほうこう 「おれ」のほうこう	げんこう用紙に 書くとき	「そり」のほうこう	「点」のほうこう	画の長さ 点や画の間 画のつき方と交わり方	点と画の書き方の まとめ 字の形	字の中心 書きぞめ	書きぞめ	二年生のまとめ	できているかな
算数	ひょうとグラフ	たし算とひき算	長さ(1) 100より大きい数	水のかさ 時こくと時間	計算のくふう	たし算とひき算のひっ算 形をしらべよう	分けた大きさ	かけ算(1)	かけ算(2)	1000より大きい数	長さ(2) 図をつかおう	はこの形とはこ作り ２年生のふくしゅう
音楽	うたでともだち	ひょうしをかんじよう	音の高さのちがいを かんじとろう 鑑賞　トルコこうしん きょく／メヌエット	くらしの中の音	リズムであそぼう	音をたのしもう 鑑賞 だがっきパーティー	どんなようすかな 鑑賞 人形のゆめと目ざめ	音さがし 音あそび	わらべうた	音を合わせよう	みんなで楽しもう 鑑賞　こうしんきょく	はるがきた 卒業式の歌
図画工作	すきなことなあに たまごから うまれてくるもの	ひかりをとおしてみよう	うしさんの絵	ねん土で作ろう(1)		かみであそぼう	お話の絵	まどを作ろう	ねん土で作ろう(2)	うつしてみよう		かんしゃの気持ちを あらわそう 卒業式のかざり作り
体育	体ほぐしの運動 多様な動きをつくる 運動遊び	体力テスト 走・投・柔軟性の運動 固定施設・鉄棒遊び	走の運動遊び ボール投げゲーム	水遊び リズム遊び(花笠おどり)		走の運動遊び 固定施設遊び	ボール蹴りゲーム マット・跳び箱遊び	表現遊び	ボール投げゲーム 縄・輪遊び	雪遊び	マット・跳び箱遊び 鬼遊び	
学級づくり	学級生活への安心感を もたせる	安全で規則正しい生活	友達と活動する	この学級の一員で よかったと感じる	生活リズムを取り戻す	目的意識を向上する	目的意識を向上する	小集団の自主的な 活動を促す	学級に貢献した自分を 発見させる	よいところを見つけ、 学び合う		1年間の成長を振り返る

※実際の単元配列表に、一部変更を加えています。実際の単元配列表（最新版）は、小学校のウェブサイト（https://www.tendo-chubu.jp/cat_28/sub_8/）で公開されています。

［例］**2 学期「おもちゃのひみつをつたえ合おう」**

生活
自分の思いや願いを実現させるために工夫しながら試行錯誤を粘り強く重ね、繰り返し遊ぶ。

国語
簡単な構成を考えながら手順を書いて、相手に伝えようとする。

音楽
おもちゃづくりの音や作っている楽しさをどのように音楽にしていくか考える。

思考力・判断力・表現力を育む

学び合いを生み出す計画に

指導内容を効率よく並べることも必要ですが、目ざす子ども像の達成に重点を置いて計画を立てることが重要です。子どもたちは、もともと有能な学び手です。学校を離れ、私たち教師がいないところでも、仲間どうしで学び合うことができるように学習を支援する意識が求められます。最終的には、子どもたち自身がカリマネできるようになることが、これからのカリマネの目的となります。

記録の残し方　おおよそ次のような手順で、単元計画に関わる記録を残します。

振り返る
単元の学習が終了した時点で、学年の担任団等で学習内容を振り返り、子どもたちの姿と照らし合わせ、ある程度手応えがあったものには青、見直したほうがよいものには赤の色を単元配列表につけておく（年度末に、これらのことを基にして「来年度も同じ学年を担当する」と想定したときの計画案を作成する）。

▶

保管する
力を入れて実践した単元の資料を保管・保存する際は、児童のノートのコピーや、使用したプリント、「次回、よりよく学習を進めるには」という視点で手直しした単元計画も残しておくとよい。

2 各単元をデザインする

令和2年度　2年3組　2学期の実践

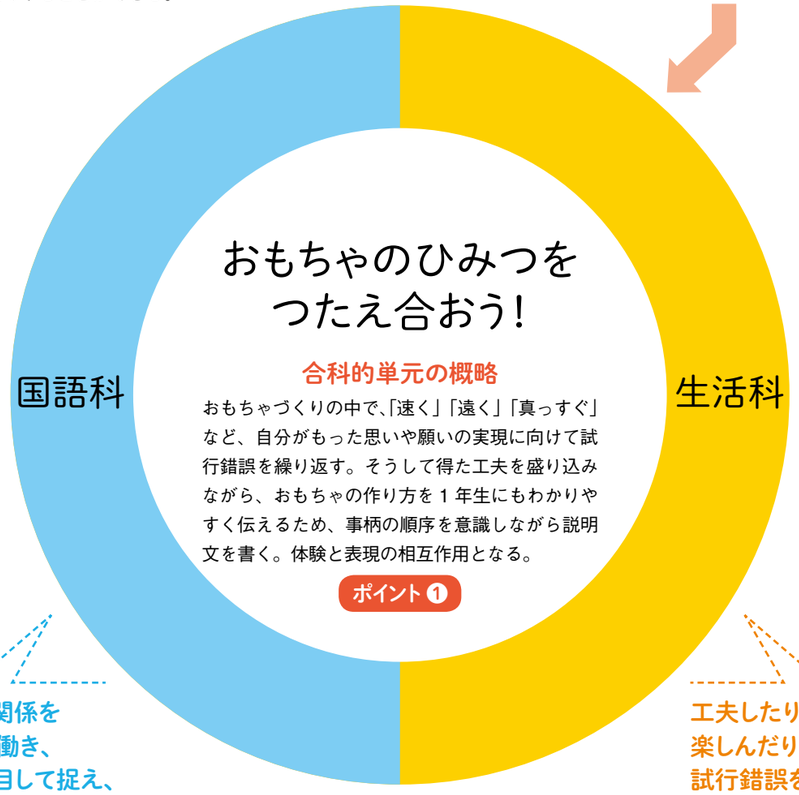
単元名：おもちゃのひみつをつたえ合おう！

学年の目標

- 誰とでも協働して活動に取り組むことができる。
- 考えながら最後まで聞くことができる。
- 自分たちの姿を見て正しい判断をしたり、落ち着いて安全な行動をしたりすることができる。

学級で伸ばしたい力

- 互いの思いを尊重し「わかり合おうとする」力（〝おたずね〟を繰り返して相手のことをわかろうとする姿）
- 自分たちの姿を振り返り、「成果や課題を把握する」力（自分の行動をメタ認知しようとする力）



対象と言葉の関係を言葉の意味、働き、使い方等に着目して捉え、表現する力（表現力）

- 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。〈書くこと⑴イ〉
- 語と語や文と文の続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。〈書くこと⑴ウ〉

工夫したり楽しんだりしながら、試行錯誤を繰り返す力（粘り強さ）

- 身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。〈内容⑹〉

ポイント❷

くらしとのつながり	内外リソースの活用
●学年集会　●児童集会　●低学年集会	●１年担任　●タブレット　●図書館の本

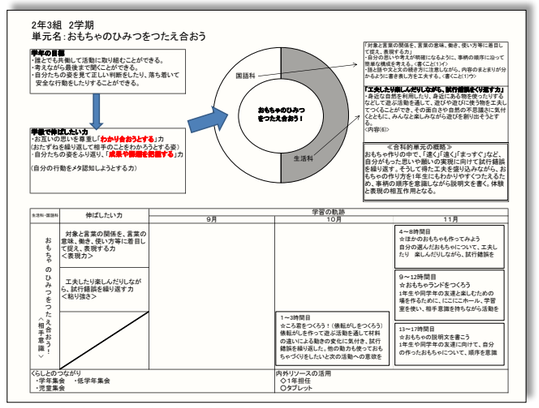
●学習の軌跡　ポイント❸

おもちゃのひみつをつたえ合おう（生活科・国語科）

9月	10月	11月
	構想・準備 （前年度のカリキュラムにあたるなど）	
	1～3時間目 ころ君をつくろう！ （俵転がしをつくろう） 俵転がしを作って遊ぶ活動を通して材料の違いによる動きの変化に気付き、試行錯誤を繰り返した。他の動力も使っておもちゃづくりをしたいと、次の活動への意欲を高めることができた。	**4～8時間目** ほかのおもちゃもつくってみよう 自分の選んだおもちゃについて、工夫したり楽しんだりしながら、試行錯誤を繰り返すことができた。 **9～12時間目** おもちゃランドをつくろう 1年生や同学年の友達と楽しむための場をつくるために、にこにこホール、学習室を使い、相手意識をもちながら活動を行った。 **13～17時間目** おもちゃのせつめい文を書こう 1年生や同学年の友達に向けて、自分の作ったおもちゃについて、順序を意識しながら説明文を書く活動を行った。

ポイント❶ 単元のデザイン力

まず、目ざす子ども像の達成に向け、伸ばしたい力を明確にして、単元の学習の構想を立てます。学年に複数の学級がある場合は、学年のめあてとの関連も考慮します。合科的な扱いにする際は、各教科等のねらいを達成するのは当然として、さらに相乗効果として子どもたちが学ぶ楽しさ・学びがいを感じられる単元となるようにデザインします（例は、「一点豪華〈合科〉単元」として実施した単元）。



天童中部小学校で作成した単元計画シート

ポイント❷ くらしの中の単元という意識

学ぶことと学校生活や社会、つまり「くらし」との関わりが実感できるときに、子どもたちは学びがいを感じやすくなります。単元をデザインする際には、単元での学びとくらしのつながりを意識します。また、学校内外のリソースを積極的に生かすことで、活動の幅が広がります。本単元では、１年担任に、作品を評価してもらったり、１年児童との交流の交渉を受けてもらったりすることを想定しています。

ポイント❸ 子どもの学びに合わせて修正・記録を繰り返す

練りに練った単元計画でも、学習が始まれば、子どもの学びの実態とは当然ずれが出てきます。子どもの学びを事前に完全に予測するのは不可能だからです。それだけに、子どもの学びの実態に合わせて、計画を修正し続け、記録することが重要になります。記録する理由は大きく二つあります。❶学習活動が単元のねらいとどう関わっているかを教師が自覚化し、学習を軌道修正するため、❷次年度以降のカリキュラムに反映させるためです。

わたしの工夫

第1回

指導の充実と働き方改革の両立

寶來生志子
Kishiko Horai

横浜市では、「先生のHAPPYが子どもの笑顔をつくる」を合言葉に働き方改革を進めています。

授業づくりや子ども、保護者との信頼関係の構築が教師にとって最も大切な仕事だと考えています。それ以外のことは、時間をかけずに取り組めるよう簡素化したり、データを共有して使えるようにしたりしています。

校内の授業研究会は、教師力を高めるために欠かせません。一人の授業をああだこうだと言いながらみんなでよりよいものに創り上げていく。当事者意識をもって取り組むことは、自分の引き出しを増やすことにつながります。

授業を見合い、放課後、学年で相談会を開くこともあります。子どももちろんですが、教師もホットなうちに振り返ることが大切です。

いっぽうで、職員の会議は、審議内容等をグループウェアで事前に共有しておき、会議の回数や会議時間を削減しています。また、授業づくりに関係のある文部科学省等の最新情報や研修動画などは、コロナ禍で導入したビジネスチャットに情報発信し、時間に余裕のあるときに見られるようにしています。

必要なことを見極め、無駄は省くことで、先生たちも笑顔で、子どものよさを語り合うことができるのだと思います。その笑顔が、「明日も頑張ろう」という私の原動力になっています。

寶來生志子 ほうらい・きしこ

横浜市立恩田小学校校長。横浜市の公立小学校勤務ののち、平成24～28年には、横浜市こども青少年局担当課長として、スタートカリキュラム推進を担う。『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 生活編』作成協力者、『発達や学びをつなぐスタートカリキュラム』（文部科学省・国立教育政策研究所 編著）作成協力者。

光村図書

せいかつ探検隊 第2号 2021年10月11日発行
発行人 吉田直樹
発行所 光村図書出版株式会社 〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9 TEL.03-3493-2111
URL www.mitsumura-tosho.co.jp E-Mail koho@mitsumura-tosho.co.jp
デザイン 鷹觜麻衣子 表紙イラスト tupera tupera イラスト 熊本奈津子 印刷所 光村印刷株式会社
本誌は、文部科学省による「教科書採択の公正確保について」に基づき、（一社）教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」にのっとって配布しております。